

ご存知ですか？ 平野区のコミュニティスペース「ケアローソン」

平野区の瓜破東一丁目にあるローソンは、まだ珍しい介護相談窓口を併設した「ケアローソン」型の店舗です。

この店舗で相談窓口を担っている永寿福祉会は、瓜破地域と長吉地域で地域包括支援センター等を運営しています。

このたびケアローソンにうかがい、運営される株式会社ローソン大阪南支店から紺氏（以下ローソン・紺氏）と永寿福祉会から長吉地域包括支援センター長の横山氏（以下永寿福祉会・横山氏）のお二人に、地域住民の暮らしを支える立場からお話をきかせていただきました。



公営団地の近くにある、ローソン瓜破東一丁目店
住所：平野区瓜破東1-11-29
オンデマンドバスの停留所もあります♪

インタビュー① ローソンにおける「マチの相談窓口」

Q：なぜ、コンビニに相談窓口を併設する事業を始めたのですか？

ローソン・紺氏：ケアローソン事業はヘルスケア事業の一環として2015年から展開しています。われわれは〈マチのほっとステーション〉として地域のお客様の健康と便利な生活をサポートしています。コンビニエンスストアはお客様との距離が近く、なじみのお客様の顔は憶えて「いつも買いに来るあの人最近見かけないね」と話題にもなります。でもお名前を聞くことはなく、そこから先に進むこともありません。介護相談窓口ができ専門職が待機されることでお客様の安否確認にも繋がることを期待しています。

知らない方もいると思いますが、コンビニエンスストアは〈子ども110番〉としての緊急避難先の機能もあります。万一の災害時には、まず避難した子どもの安否確認をして、その後は警察や学校などと連携しています。

インタビュー② 相談支援員による「マチの相談窓口」

Q：相談を受ける側として、ケアローソンの窓口と、地域包括支援センターとの違いはありますか？

永寿福社会・横山氏：地域の端の方にある長吉地域包括支援センターとくらべると、ここは買い物に来たお客さんが「ついでに」と介護保険の申請方法を尋ねられたり、本当に気軽に来られます。祝日も窓口を開けているので便利です。施設入所へのご相談の際は、オンラインで施設に繋いで直接会話ができます。2022年3月現在ローソン様から御寄付いただいた成人用の紙オムツの備蓄があり、困っている方には無料でお渡ししています。地域包括支援センターで預かったN95マスク（寄付）もあり、こちらは在宅の専門機関の担当者などに渡しています。



ケアローソンの相談窓口

インタビュー③ 地域におけるケアローソンの可能性

Q：普段はイートインコーナーに使用されている、ケアローソンのスペースにはテーブルやイスがたくさんあります。今後の活用についてどのようにお考えですか？

ローソン・紺氏：これまでもスマホ教室や体操教室等の企画がありました。今後は型にはまらず小さくても地域のニーズに合わせたチャレンジをしたいと思います。



ケアローソンのイートインコーナー

永寿福社会・横山氏：住民さん自身のいきがいや社会的存在が感じられる居場所が必要です。ここはインターネット環境も整っているのも、コロナ後は専門職を含めた研修会や交流の場などの幅広い可能性があります。介護をされているご家族にとっても、一息つける“ほっと”ステーションになってほしいと思います。



上左より、横山長吉地域包括支援センター長、株式会社ローソンの紺さんと藤井さん、下左より、平野区社協の矢野と小幡

ささえ愛支援員も一緒にケアローソンについての活用を考えていきます！
ささえ愛支援員は地域のコミュニティスペースと住民の活動をつなぐ役割があります。
みなさまからの「場所を探している」「場所を提供できる」の声をお待ちしております。

お問い合わせ

社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会

平野区ささえ愛支援員（生活支援コーディネーター）

☎06-6795-2525 担当：井上・坂本・村上・小幡・蓬菜・矢野

●所在地：〒547-0043 大阪市平野区平野東2-1-30

平野区在宅サービスセンター（にここセンター）

TEL 06-6795-2525 FAX 06-6795-2929

●開館時間：平日9:00～19:00（土曜日17:30まで）

●休館日：日・祝・年末年始



平野区社会福祉協議会

